

# ほっかいどうの社会保障

2011年12月19日

北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 社会保障の拡充を 消費税増税止めよ!

### 吹雪、寒風の中、道内24カ所で行動



12月15日(木)、2カ月に一度の年金支給日にあわせて、宣伝行動が行われました。吹雪などの悪天候の中、道内24カ所で、地域社保協や年金者組合などから226人が参加し、中央社保協の社会保障拡充署名44筆、年金改善署名462筆が集まりました。

札幌の中心街で行われた行動には、40名以上が参加し、「年金の引き下げをやめろ」「介護保険、後期高齢者医療保険料、協会けんぽ保険料の値上げに加え、所得税・住民税も増税されます。とても負担できません」「社会保障・税の一体改革は改悪です。医療費を軽減するなど、社会保障の拡充こそ必要です」など、次々ハンドマイクで訴えました。

## 深刻な相談相次ぐ 反貧困ネット総合相談会

12月19日(月)、札幌地下歩行空間で反貧困ネット北海道主催の「労働・生活の総合相談会」が行われました。10時30分から18時の間に、42人から48件の相談があり、依然として、就職難や劣悪な労働条件、改悪続く社会保障の下で、多くの人が大変な生活をしていることが明らかになりました。

生活相談では、「夫が来月失業保険も切れる、障害を持つ二人の子もいるので、今後について相談したい」など16名の相談があり、生活保護申請が必要な方が5名、当日手持金が全くない方2名が申請し受理されました。労働相談ではパワハラや賃金未払、法律相談も多様で、高齢者の賃貸住宅の相談もありました。

心の障害を持った方の相談も多く、医療・介護問題でも、「月7万円の収入しかなく医療機関にかかれぬ」「認知症の家族が病院から退院をせまられているが、老人保健施設が高い薬の方の入所は断ると言われた」「家族が有料老人ホームに入所していたが認知症になったため退去しろと言われている」「一人暮らしだが、老人ホームに入って認知症になった時が不安だ」などの相談がありました。血圧測定コーナーでは、看護師が交代で44人の測定を行い、そこでも日頃の療養の仕方など気になることについて相談に応じました。



## 「北海道支部は保険料率の値上げに反対です」

国庫補助率を法定上限の20%にしても値上げになります 協会けんぽ 北海道支部評議会

12月19日、協会けんぽ北海道は支部評議会を開き、2012年度保険料などについて協議しました。

事務局から、全国協会けんぽが、厚生労働大臣に対し国庫補助率の引き上げ要請(16.4%から法律条件の20%に)や、民主党陳情本部、厚生労働大臣にも協会けんぽの基盤強化を求める要請を行い、北海道支部としても、民主党道本部、道内選出議員の厚生労働委員(山崎摩耶議員・工藤仁美議員)に要請したこと、全国会議でも各支部から「連続値上げには反対」「補助率20%への引き上げは当然」「全国一律も戻すべき」などの意見がされていることも紹介されました。

現状では、全国平均で9.50%から10.04%に値上がりする【標準報酬月額28万円で、年額20215円(労使折半)】こと、補助率が20%に値上げされても保険料が9.74%に値上げされることも報告されました。

議論では、「中小企業は、保険料が上がると、人件費を抑えるしかなくなる」「法人税は利益にかかるが事業者にとって保険料は赤字でも負担必要」「補助率が20%になっても値上げされるなら制度として破綻するのでは」「高齢者医療への拠出金は国が負担すべき」「都道府県ごとに悩ますのではなく、国の制度に戻すべき」などの意見が相次ぎました。

議長が「北海道支部は保険料率値上げ反対で、次回文書にしたい」とまとめました。次回は1月14日です。